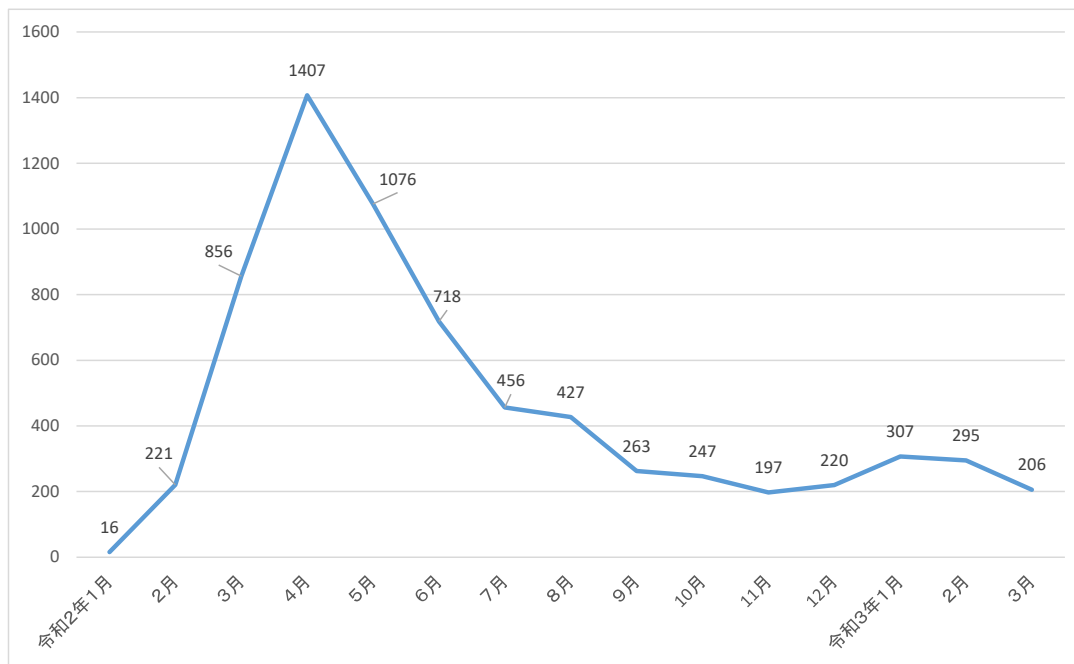


※ 4 月 30 日時点の速報値です。

## 新型コロナウイルス関連の神奈川県内における消費生活相談の概要

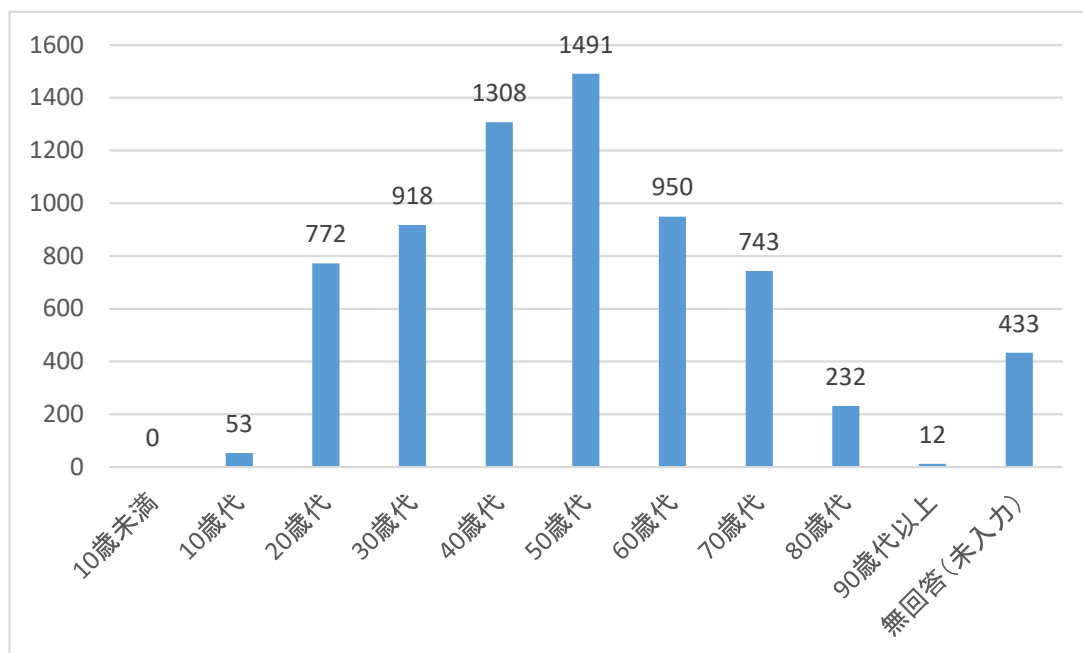
### 1 苦情相談件数

トイレットペーパーが品不足になるという情報が騒がれた 2020 年 3 月から緊急事態宣言（第 1 回）（4/7～5/25）の時期を中心に、新型コロナウイルスに関連する相談が入った。それ以降は、緊急事態宣言（第 2 回）（1/7～3/21）の時期に多少の増加はあるものの、200～300 件程度で推移している。



### 2 相談者年齢別件数

幅広い年代の相談が寄せられているが、20 歳代から 70 歳代までの相談が目立っており、50 歳代が最も多い。



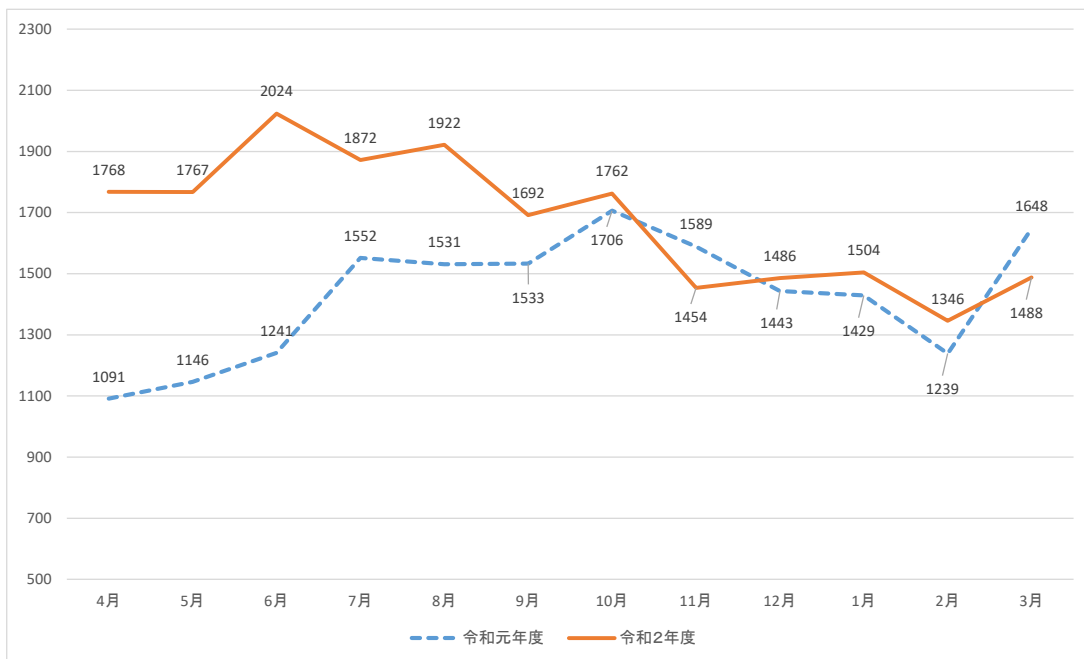
※4月30日時点の速報値です。

### 3 インターネット通販関連の苦情相談の概要

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、自宅で過ごす機会が増えたことや、「新しい生活様式」の実践により、インターネット通販の利用がさらに広がっている。そこで、かながわ中央消費生活センターに寄せられたインターネット通販に関する苦情相談の概要をまとめた。

#### (1) 苦情相談件数

健康食品、衣類や化粧品について多く相談が寄せられている。また、緊急事態宣言（第1回）（4/7～5/25）から数か月間、多くの相談が寄せられており、在宅中に利用したインターネット通販のトラブルが数か月後に相談として寄せられたものと考えられる。



#### (2) 契約当事者年齢別件数

前年度と比べると、10歳代を除くすべての年代において増加している。幅広い年代に関する相談が寄せられているが、20歳代から70歳代までの相談が目立っており、50歳代が最も多い。

